

16 建具工事	15. 重量シャッターの種類 (16.11.2、3) ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () pa 開閉方式の種類 電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース 設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板銅帯) めっきの付着量 Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス銅板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 建具表による	2. . メタルカーテンウォール 金属材料の種類 (17.2.2、3、5、6) ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 図示による ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 (・SR-2 ・SR-1) ・構造ガasket 形状、寸法等 図示による 断熱材 種類及び範囲 図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 標準仕様書表17.2.1による 見え掛かり部の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 ・ (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合) ガラス溝の寸法、形状等 カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ±10mm 水平方向 ±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ±3mm 目地の心の通り 0～2mm 目地両側の段差 0～2mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ±3mm 耐火処理 適用部位、材料等 図示による ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 4辺支持	製作 PC版の配筋 図示による 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ±10mm 水平方向 ±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ±5mm 目地の心の通り 0～3mm 目地両側の段差 0～4mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ±5mm ガラスの取付け方法 ・ガラスの取付け材が構造用ガasketで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う
	16. 軽量シャッター開閉方式の種類 (16.12.2～4) 手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) めっきの付着量 (Z06又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき銅板及び銅帯) めっきの付着量 (AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	19. ガラスブロック積み (16.14.5) 呼び寸法 (mm)厚さ (mm)色調目地幅 (mm)伸縮調整目地位置 (mm)耐火性能 ・160×160 ・95 ・95 ・200×200 壁用金属枠及び補強材 図示による 力骨 材質 ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 径5.5mm 形状 はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 図示による 形状 図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による 目地部の横力骨の納まり ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による	3. . PCカーテンウォール 材料 コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種) 品質 設計基準強度 (Fc) 30N/mm2 スランブ 12cm 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・軽量コンクリートの場合 1.8t/m3～2.1t/m3 単位水量の最大値 185kg/m3 鉄筋 種類の記号 SD295 補強鉄線 径 (mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 図示による ガラスの取付け材料 ・構造ガasket 形状、寸法等 ・図示による 耐火処理 適用部位、材料等 図示による 断熱材 種類 () 種類及び範囲 図示による 先付けの材料 ・表面仕上材 ・セラミックタイル ・石材 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ±3mm 対角線長の差 0～5mm 版厚 ±2mm 開口部内法寸法 ±2mm ねじれ、反り 0～5mm 曲がり 0～3mm 面の凸凹 0～3mm 先付け金物の位置 0～5mm PCカーテンウォールの仕上げ 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) 図示による	1. 材料 (18.1.3) 防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所：) 2. 素地ごしらえ (18.2.2～7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 B種 ・A種 鉄鋼面 (DP以外) C種 ・A種 ・B種 鉄鋼面 (DPのみ) B種 ・A種 ・C種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びせっこうブラスター面 B種 ・A種 コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 B種 ・A種 押出成形セメント板面 B種 ・A種 コンクリート面 (DPのみ) A種 ・B種 せっこうボード面及び目地：継目処理工法 A種 ・B種 その他ボード面 目地：継目処理工法以外 B種 ・A種 3. 錆止め塗料塗り (18.3.2、3) 下地面 塗料の種別 錆止め塗料の種類 錆止め塗料塗りの工程 鉄鋼面 SOP A種 見え掛り：A種 見え隠れ：B種 DP C種及びD種 表18.3.4 EP-G B種 ・A種 見え掛り：A種 見え隠れ：B種 SOP A種 ・B種 鋼製建具等：A種 上記以外：B種 亜鉛めっき鋼面DP B種 表18.3.6 EP-G C種 鋼製建具等：A種 上記以外：B種 4. 塗装 (18.4.1～18.12.2) 塗装 種別 塗料の種類 ・合成樹脂調合ベイト 木部屋外 A種 ・B種 木部屋内 B種 ・A種 塗り (SOP) 鉄鋼面 B種 ・A種 亜鉛めっき鋼面 - ・クリヤラッカー塗り (CL) B種 ・A種 - ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAC) B種 ・A種 - ・耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 - 上塗り塗料の等級 () 級 亜鉛めっき鋼面 - 上塗り塗料の等級 () 級 コンクリート面 ・A種 ・B種 押出成形セメント板面 C種 モルタル面 ・つや有合成樹脂エマル ラスター面 B種 ・A種 - ルションベイント塗り せっこうボード面 その他ボード面等 屋内の鉄鋼面 B種 ・A種 - 亜鉛めっき鋼面 ・合成樹脂エマルションベイント塗り (EP) B種 ・A種 - ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) B種 ・A種 - ・ステイン塗り ・ビグメント ・ステンステイン塗り (OS) - ・木材保護塗料塗り (WP) B種 ・A種 - クリヤラッカー塗り A 種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する (着色剤：・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等
	17. オーバーヘッドドア (16.13.2、3) セクション材料による区分風圧力による区分開閉方式による区分収納形式による区分ガイドレールの材料 スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバー ・グラスタイプ ・50 ・75 ・100 ・125 バランス式 ・チェーン式 ・電動式 スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 溶融亜鉛めっき銅板 ・ステンレス銅板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 建具表による) ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 建具表による ・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ 建具表による 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・類 ・-1類 ・-2類 ・類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種	17. カーテンウォール工事 1. 取付け形態、性能等 (17.1.3) 取付け形態による分類 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スバンドレル方式 性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性 () ・30分 ・1時間 ・80 ・70 ・60 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・たわみ量が ± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること 4mを超える 性能の確認方法及び判定方法 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける		
	備考	訂正	内容	TITLE (仮称) グループホーム かすが 新築工事 SUBTITLE —— 特記仕様書 (7) アート建築設計 (A R T) 長野県 小諸市 与良町 1 - 1 - 5 TEL (0267)23-8551 FAX (0267)23-8663

備 考	訂 正	内 容	TITLE (仮称) グループホーム かすが 新築工事	SCALE	DATE
			SUBTITLE —— 特記仕様書 (7)	1 級建築士事務所 長野県知事登録 (佐久) B 第81221号	DRAWING NO A - 7
			ア ー ト 建 築 設 計 (A R T) 長野県 小諸市 与良町 1 - 1 - 5	1 級建築士 第 1 6 3 9 5 2 号 小林 雅博	INSPECT DRAWING
			TEL (0267)23-8551 FAX (0267)23-8663		